



戦争をさせない石川の会 講演会

戦争・「慰安婦」問題・メディア

—歴史の真実に向き合うために—

講師

池田恵理子 さん

資料代：500円

(女たちの戦争と平和資料館館長、元NHKディレクター)

日時

12月8日(月) 18:30~20:30

会場

金沢市文化ホール 2階大集会室



池田恵理子さんのプロフィール

- 池田さんは4年前にNHKを定年退職され、今は「女たちの戦争と平和資料館(wam)」館長として運営に携わっています。日本で唯一、「慰安婦」の被害と加害の証言や資料を集めたミュージアムです。
- NHKでは、ディレクターとして主に『おはようジャーナル』と『ETV特集』の枠で女性、人権、教育、エイズ、戦争など多数の番組を制作されました。エイズ取材では、金沢に何度も訪れています。
- この20年は、アジア各国の「慰安婦」被害者に向き合い、日本政府に解決を求めて活動。近著、『「慰安婦」問題、すべての疑問に答えます』(合同出版)、『NHKが危ない』(あけび書房)は、「慰安婦」問題の基本的理解や、NHKの「慰安婦」番組をめぐる問題をおさえるうえでわかりやすく読みやすいと好評です。

いま、日本では「慰安婦」報道をめぐる朝日新聞の誤報について激しいバッシングがなされていますが、新聞報道のあり方や、「慰安婦」に強制連行があったか否かだけに矮小化してはいけなはずです。いまこそ、私たちは、「慰安婦」問題の本質を理解し、日本が犯した戦争の加害責任について真剣に向き合う必要があるでしょう。

「慰安婦」問題の本質的理解を妨げている要因のひとつに、メディアのこの問題への取り組みに問題があるといえます。大手メディアが、歴史認識をめぐって、あるいは安倍政権への距離の取り方などから二極化されるというかつてない状況もあります。「慰安婦」報道に携わった元記者や家族への脅迫がなされるという、民主主義の土台を掘り崩す深刻な事態も生まれています。

池田さんは、長らく放送の現場で「慰安婦」問題をはじめ多くの社会的なテーマを制作し訴え続けてこられました。また、退職後は、女性の戦争被害について掘りおこし、権利回復の運動に携わっています。これらの経験から、日本軍による戦争加害の視点から「慰安婦」問題をとらえる意義とその本質、またメディアが戦争や「慰安婦」問題をどのように報じてきたか(報じるべきか)、私たち市民は「戦争ができる国づくり」にどう立ち向かうかなどをお話しいただきます。多数のご参加をお待ちしています。

主催 戦争をさせない石川の会

金沢市兼六元町9-40 金沢合同法律事務所気付 TEL076-221-4111